



# ★★★Free Tibet in Sapporo★★★ チベット弾圧抗議の声を北の大地から FREE TIBET

チベットの人々に自由と人間としての尊厳を回復のために、みなさんのお力をかけてください

## アピールウォーク参加者大募集!!

【開催日時】平成20年7月6日(日曜日) 13:30~15:30 集合・諸説明・解散含む 雨天決行

【集合場所】大通公園7丁目 13:30

【活動の趣旨】チベット問題を広く一般の人々に向けて周知し国際世論を喚起することで  
平和的かつ可及的速やかにこのチベット問題の解決を望み支援するものです

【デモコース】大通公園、札幌駅前通 大通公園へすすきの間、ススキノ(詳細は当日説明)

【主催団体】Free Tibet in Sapporo 実行委員会

今年の7月7~9日に開催される洞爺湖サミットで世界中の目が北海道に集まっている今、この札幌の舞台で共に、平和を願う同じ人間として魂の叫びを響かせましょう!

Free Tibet in Sapporo 実行委員会(社会福祉団体として登録済み)では北海道洞爺湖サミットやWorld Tibet Dayにあわせて

今年7月6日(日)に札幌で、チベットに平和を取り戻すためのデモを行います

については、人種・性別・年齢・職業等は一切問わず、全国からの参加者を熱く募集します!

参加の意思がある方は、人数把握のため、お手数ですが「名前入り(ハンドルネーム可)」でsapporo.freetibet@gmail.comまで参加表明をしていただくと助かります  
これら活動は、あくまでも国内法や自治体条例に従い、適法のうちに行われるものであり、許認可関係の確認申請も済みです

※こちらに届いたHNやメールアドレス、その他一切の個人情報は、今回の活動以外で使用することはありません  
勿論、事前申告なしの当日参加・途中参加・途中抜けもOKです

※反サミット等のチベット問題啓発・解決請求に関係の無い方は参加をお断りしています(当日飛び入りでそのようなものが混じった場合も、警察と連携・協力して排除します)

また、メインスタッフ・サブスタッフ・動画撮影班も随時募集中です  
ご協力いただける方は是非!その旨も添えてお知らせください

Webまとめサイト: <http://www9.atwiki.jp/ftas/>



本来チベットは独立した自治国家でした。しかし、中華人民共和国誕生とともに中国は、「チベットは中国の領土であり、中国の一部である…」との主張をはじめました。

1949年、中国の人民解放軍はチベットに侵攻して全国土を占領し始め、ついにはダライ・ラマ法王がインドへ逃れ、1959年3月に勃発したラサ蜂起が鎮圧されるに至った。ダライ・ラマ法王に続いて、約8万人ほどのチベット人が亡命し、インド、ネパール、ブータンに定住した。難民の流入は今も続いている。現在、難民の数は、亡命中に生まれた者を含めて合計13万人以上となっています。

1959年4月29日、ダライ・ラマ法王はインド北部の丘陵地ムスリーにチベット亡命政府、つまり中央チベット行政政府 Central Tibetan Administration(CTA)を新たに樹立した。1960年5月、亡命政府はダラムサラのガンチェン・キション Gangchen Kyishong(チベット語で「雪国の喜びの谷」の意)と呼ばれる地域に拠点を移しました。

2006年には、ダライ・ラマ法王に会うためにヒマラヤ山脈を歩いて越えて亡命しようとするチベット人たちを中国軍が狙撃する模様を多くの登山者らが目撃。一部始終を撮影した映像が公開されました。

<http://jp.youtube.com/watch?v=o1-y6-Rxyvc>

1989年3月、ラサに戒厳令を敷いて外界から遮断してしまいます(このときのチベットのトップが、今の中国の国家主席・胡錦濤でした)。1990年5月に戒厳令は解除されましたが、反中国的な行動に対する強攻策は今も変わっていません。

### チベットのここが問題

#### ★人権がおろそかにされています

思想信条を理由に投獄されたり、刑務所で拷問されたり、マトモな裁判もなしに死刑にされたりします。

#### ★中国人(漢民族)の移民が多すぎます

政府が入植を奨励しており、すでにチベット人は少数派になってしまいました。もともと600万人しかいないため、民族としての存亡が危ぶまれています。

#### ★信仰の自由がありません

ダライ・ラマ法王を批判しない僧侶は寺院から追放されます。一方、中国政府が勝手に高僧を任命して、信仰を強制しています。

#### ★環境を壊しすぎています

乱獲、乱伐、乱開発でチベットの自然が破壊されました。核兵器を作り、核廃棄物の捨て場にしている疑いがあり、四川省の地震でも核被害が懸念されています。

### 産児制限と中絶・不妊手術の強制

[http://www.tibethouse.jp/human\\_rights/human34.html](http://www.tibethouse.jp/human_rights/human34.html)

甘肅省「天祝(バリ)チベット族自治州」では、1983年、2,415人の女性が不妊手術を受けており、その82%がチベット人である。また 1987年には、四川省「甘孜チベット族自治州」のザチュ県で764人の出産適齢女性が不妊手術を受け、そのうちの660人がチベット人であった。産児制限チームが農村・遊牧地域を歩き回っては、女性たちを集めて中絶や不妊手術を施している。すでに腹部の大きくなっている女性にさえ中絶が強制され、ついで不妊手術が実施された。

これだけの非人道的な行為が行われているにも関わらず日本のマスメディアは、多くを報道しません。それはなぜか?

「日中記者協定」という問題が横たわっているからです。この協定は簡単にいえば「中国に不利になるような報道は控える」という、あきれたものなのです。しかし現在は、インターネットの普及によりさまざまな情報が入手できる今だからこそ、この問題について一緒に考えてくれませんか。

Free Tibet in Sapporo実行委員会